

特別支援教室だより③

令和8年 1月 8日
江戸川区立二之江第二小学校
校長 鳥居 圭

今回の「特別支援教室だより」では、二之江第二小学校で一年生を対象に行った理解教育についてご紹介いたします。理解教育とは、「にじいろの部屋」(特別支援教室)ではどのような学習をしているか正しく理解することをねらいとして行っている授業です。実際の授業を体験することで、理解を深められるようにしています。担任の先生方と協力して授業を進めてきました。



「にじいろのへや」のことをしよう

にじいろの部屋はどんな部屋か、どんなことを勉強しているか知ることができたよ。



体験①よく見て答えよう!

目を使った学習です。2枚の写真を見て違いを答えました。見る力と視覚記憶のトレーニングです。

よく見てないと、違いが分からないから、みんな集中して見ていたよ。話し方の話型を使って、答え方の練習もしたよ。



体験②よく聞いて答えよう!

お話をよく聞く学習です。よく聞いてお話の中でおかしいところを答えました。

- ① お風呂に入るの服を着た
- ② 給食を食べ終わったので、「いただきます」と言いました。

よく聞いてないと、どこが違うか分からなかった。集中して聞くのは、難しいな。



体験③こんな時どうする?

先生たちの劇を見て、気持ちの伝え方を考えたよ。うまく伝えられると友達と仲良く遊べたよ!



【授業を受けての感想】

- ・ にじいろの部屋は小さいことが分かった。
- ・ もっとにじいろの部屋のことを知りたいと思った。
- ・ 大事なことが知れて良かったです。